OWL-PCCHS シリーズ　取扱説明書

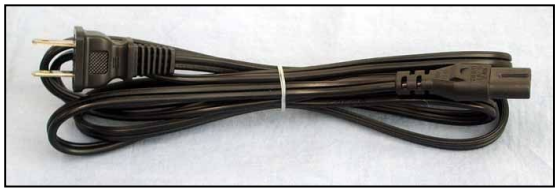
この度は弊社製品をご購入いただき、誠に有り難うございます。本製品を正しくお使い頂くために本取扱説明書を必ずご一読下さい。また製品に付属しています保証書は、販売店より日付と販売店舗の記入及び押印を頂くか、購入日が証明できるようレシートなどと一緒に大切に保管して下さい。

１．警告・注意事項

✧ ケース内には尖った部分や鋭利な部分があります。負傷防止のため手袋などを着用して作業してください。
✧ 配線の間違いや、線を金具などで挟みますとショート事故となり、機器を故障させるだけでなく、火災の発生原因になる場合があります。
✧ 本製品は高度な信頼性を必要とする（医療機器など）装置としての使用は避けてください。RAID機能以外（電源など）はバックアップ機能がありません。
✧ 電子部品は静電気に大変弱い部品です。アースを取るなどして静電気対策を行ってから作業をして下さい。
✧ 付属のDC電源アダプタ及びACコードは、安全規格上本製品専用のものです。他製品への流用や他製品からの流用はできません。
✧ 本製品は、全ての機器への適合を保証するものではありません。各種組込み用機器をお求めの際は、寸法や電気的・機械的な適合をご確認の上お求めください。
✧ 各機器の固定に使用するネジは、マザーボード固定ネジを除き、各機器付属のネジをご使用ください。
✧ 本説明書ではハードディスクドライブを「HDD」、光学式ドライブを「ODD」、長さの単位インチを「”」と表現しています。同様にその他の部品などでも略号や通称を使用しています。
✧ 製品の改善などのため、予告なしに仕様の変更や、付属品の変更又は追加や削除をする場合があります。

２．付属品

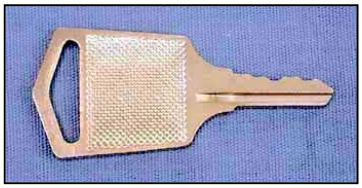
AC コード



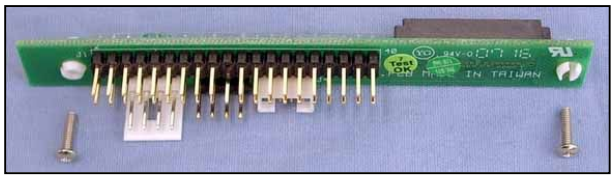
DC 電源アダプタ

LED:通電時緑点灯

フロント扉用鍵



スリム ODD 変換基板、固定ネジ付き

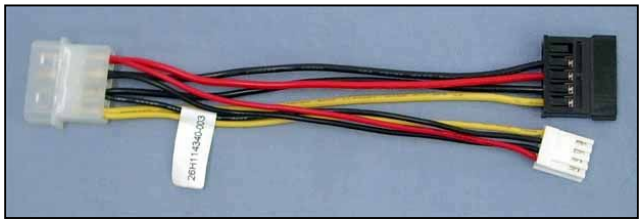


スクリューネジ

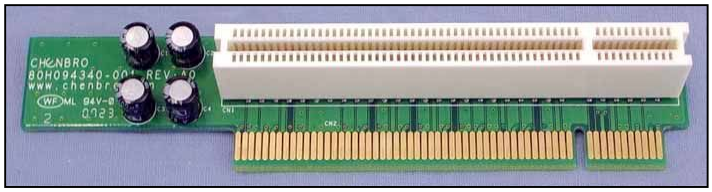
フランジ付き
インチネジ

皿頭インチネジ

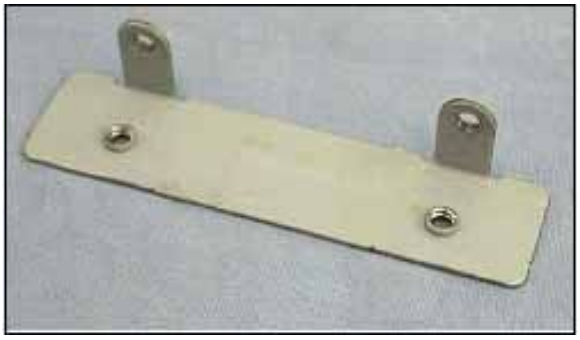
電源分岐ケーブル



ライザカード

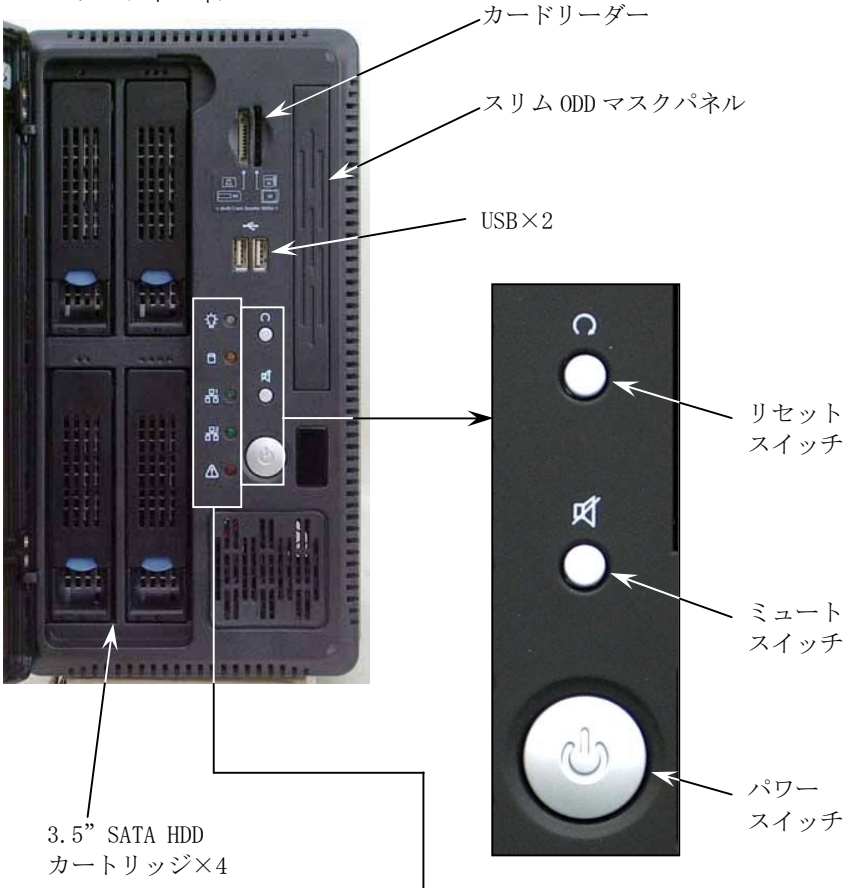


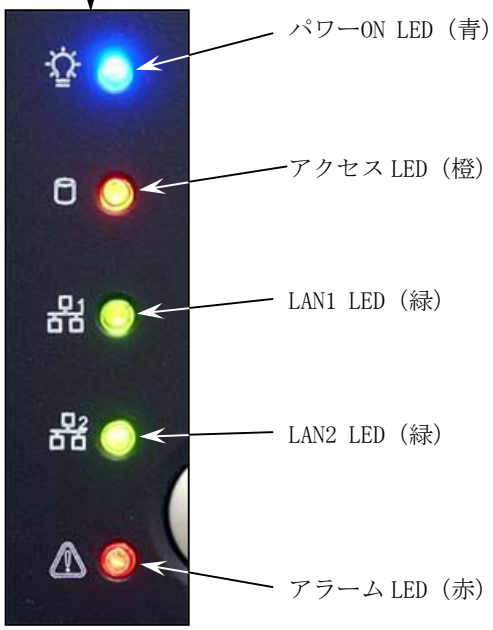
専用 PCI 金具



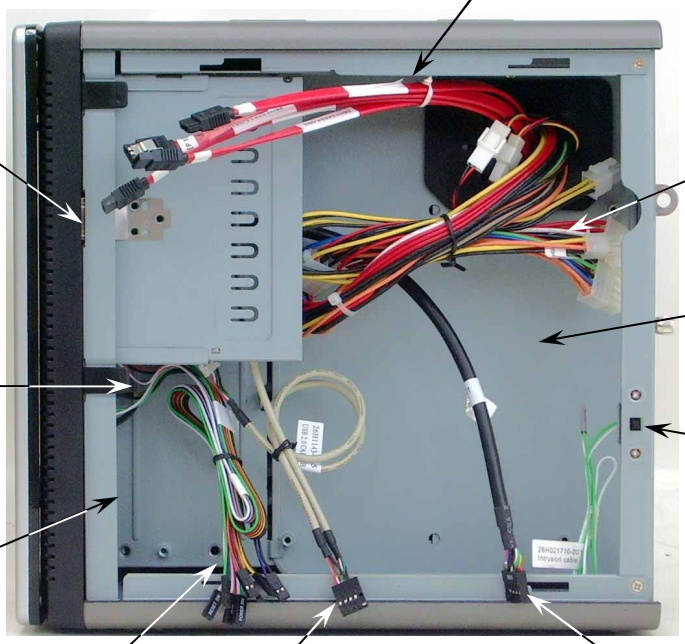
３．各部名称

【注意】フロント扉はアクリル板でできているため強い力が加わると、変形や破損する場合があります。





本体右側面



背面板及び左側面パネルの取外しは困難な上、一般的な使用では取外す必要がありません。また分解により内部の部品などを破損する恐れがあります。

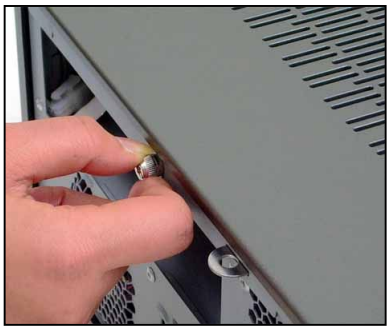
【注意】

この部分の分解をお客様が行った場合、破損した部品などの責任所在が解明できなくなるため、以降本製品全体が保証の対象外となる場合がありますので、ご注意ください。

背面板

４．右側面パネルの取外し方

本製品の右側面パネルは、ローレットネジ（手締め可能）で固定されています。



①上面パネルを固定しているローレットネジを取外します。

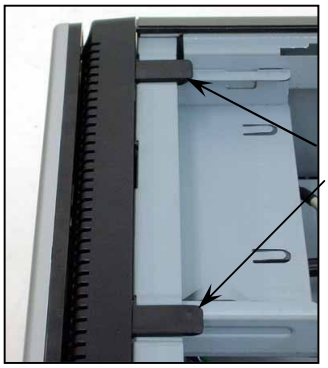
②上面パネルを後方に1㎝ほどスライドさせます（手のひらの摩擦を使うと動きます）

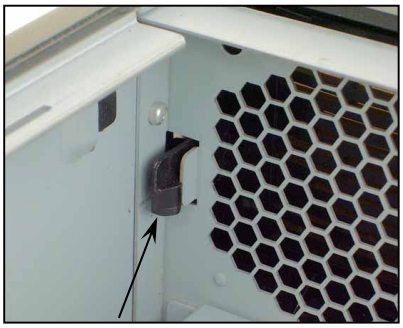
③上面パネルの後方を持ち上げて外します。

５．フロントパネルの取外し方

本製品のフロントパネルはODDの組み込みや、フロントファンの増設の時に一旦外す必要があります。

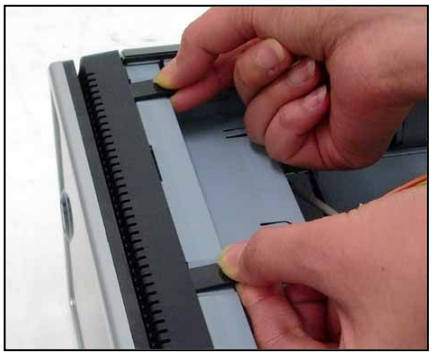
【注意】フロントパネルは爪で正面板に固定されています。爪はプラスチック製で堅牢ではないため、強引な取外しをしますと破損します。また頻繁な取外しでも劣化しますので、取外しは必要最低限にしてください。





底面固定爪

左側固定爪



①右側2箇所の爪を浮かし、少しパネルを前に押します。

②底面の爪を浮かし更にパネルを前に引きます。

③左側の爪は見えません。パネルを上下前後に軽く動かし手前に引き外します。

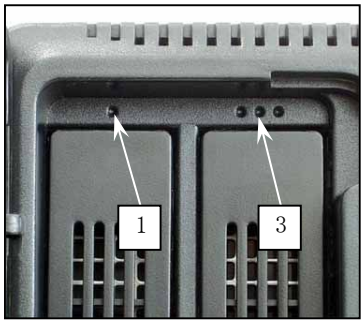
６．HDDの取付け方及びSATAケーブルの配線

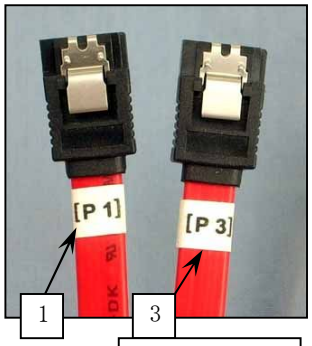
本製品では3.5”SATA HDDカートリッジ4台分と2.5”HDD 1台分の取付けスペースが有ります。

【注意】★HDDは精密製品ですので静電気対策をし、振動・衝撃等を与えないように十分ご注意下さい。

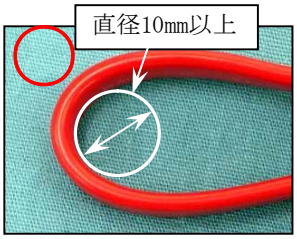
★3.5”SATA HDDカートリッジの挿入はフロントパネルに対し垂直に静かに挿入してください。途中で何かに当たる感じがした場合は、一旦取出して原因を除去してから再度挿入してください。抵抗感のあるまま挿入しますと、HDDやバックプレーン（SATA HDDコネクタの受け側）などを破損する恐れがあります。

★各カートリッジの上に表示されている“点”の数が、SATAケーブルに表示されている“P”の後の数字と一致します。右の写真の場合、左側が1番、右側が3番となっています。
接続を行う時は、接続先のHDDが何番なのか確認して接続してください。





★SATAケーブルは直径10mm以下に曲げないでください。鋭角な曲げをしますと内部の同軸ケーブルが潰れ、リンク速度の低下や、最悪の場合HDDを認識しなくなります。

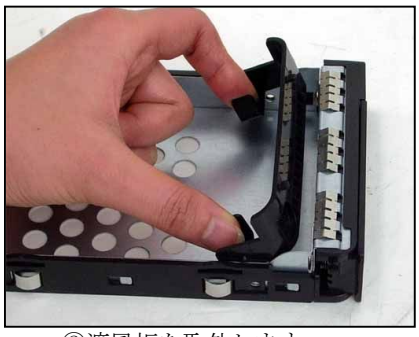


★接続方法はマザーボード・PCIボードなどのマニュアルを参照するか、各ボードメーカーに問い合わせてください。

★カートリッジのアクセスLED(緑)は、HDDよりアクセス信号を受け取り点灯・点滅する構造のため、HDDのメーカーや種類により点灯・点滅しない場合があります。

６－1、3.5”SATA HDDの取付け

①青いストッパーを上に押し、レバーを手前に引いてカートリッジを引出します。



②遮風板を取外します。

③HDDをカートリッジに挿入しネジ穴位置を合わせます。

④HDD固定ネジ穴4箇所を、付属の皿頭インチネジで締めます。

⑤レバーを開いたまま、静かにカートリッジを本体に、突き当たるまで挿入します。

⑥最後はレバーをストッパーが効く様に押し、完了です。

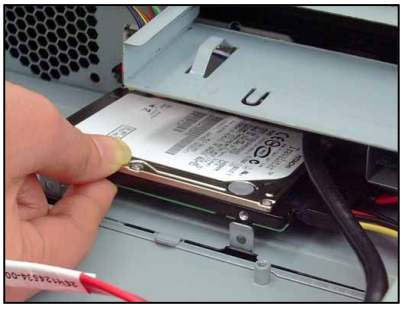
６－２、2.5”HDDの取付け

本製品にはSATAタイプの2.5”HDDが取付けできます。また、IDEタイプ2.5”HDDも以下の注意書き条件を満たす事により取付けが可能です。

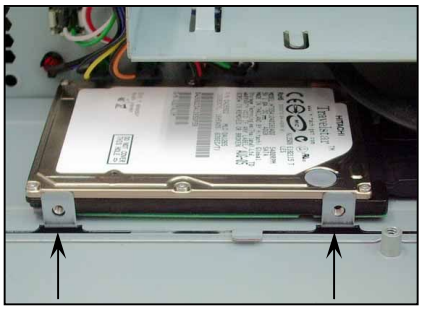
【注意】IDEタイプ2.5”HDDをご使用の場合は3.5”→2.5”変換ユニットが必要になりますが、本製品には付属していませんので別途ご用意ください。また、この変換ユニットの収容スペースにも制限がありますので、組込み可能かどうかの判断は、お客様自身でお願いします。確認の際は変換ユニットのみならず、IDEケーブル・電源ケーブルが引き回し可能かも含め確認をお願い致します。

①2.5”HDDにケーブルを接続します。

②パネル側のシャーシの突起がHDDの固定穴に入り固定されます。



③HDD取付け穴が②の突起に入るよう、挿入します。



④固定穴の位置を合わせます。

⑤HDD固定用ネジで締め付け、完了です。

2.5”HDD固定用のネジは付属していませんので、お客様にてご用意ください。

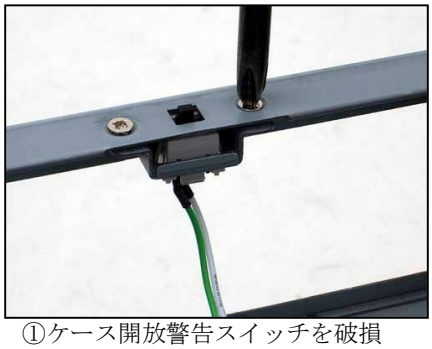
７．マザーボードの取付け

本製品はMiniITX（17×17cm）マザーボード専用です。マザーボード用のスタッドはシャーシに固定されていますので、付属のインチネジで固定してください。

【注意】★マザーボードやアドオンカードを扱う場合、静電気対策を十分に行ってから実施して下さい。

★マザーボードのネジ位置が違う場合、本製品には組み込みできません。マザーボードをお求めの際は外形寸法の他に、ネジ位置も確認の上お求めください。もしネジ位置が合わないマザーボードを使用しますと、ショート事故等を招きマザーボードに重大な故障を引起こすだけでなく、火災などが発生する恐れがあります。

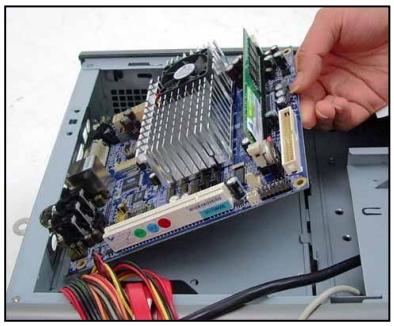
★マザーボード上の部品の高さや位置により、8項で組み込むスリムODDやスリムODD変換基板などと衝突する場合があります。マザーボードをお求めの際はご注意ください。特にCPUクーラーやメモリーの位置確認は必ず行ってください。



①ケース開放警告スイッチを破損や断線防止のため外します。（使用しない場合取付け不要）

②マザーボード取付け用ネジ穴の位置とスタッド位置が合っている事を確認します。

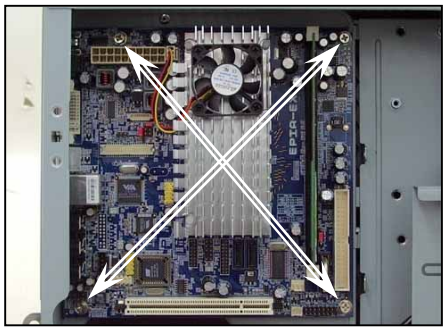
③マザーボード付属のI/Oバックパネルを取付けます。



④背面にコネクタ類を合わせながらマザーボードを挿入します。

⑤マザーボード固定穴にインチネジを仮止め（入れるだけで締めない）します。

⑥I/Oバックパネルや、内部の各部品・線などに異常が無いか確認します。



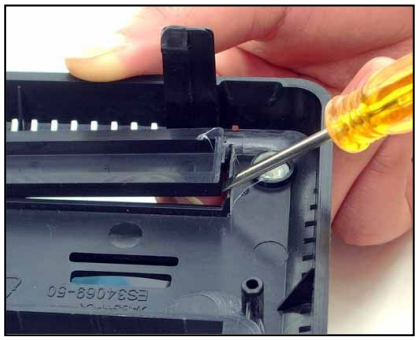
⑦対角線上の順番でネジを締めます。

８．スリムODDの取付け方

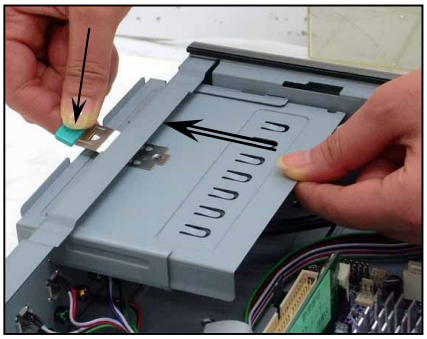
本製品にはスリムODDを1台組込む事ができます。ODD組込み前に“５．フロントパネルの取外し方”を参照しフロントパネルを外し、マザーボードよりIDEケーブルの引き出しをしておいてください。

【注意】★スリムODD全ての適合を保証するものではありません。スリムODDをお求めの際はベゼルや奥行などの寸法・マザーボード上の部品との接触や、ネジ穴の位置の適合を確認してください。

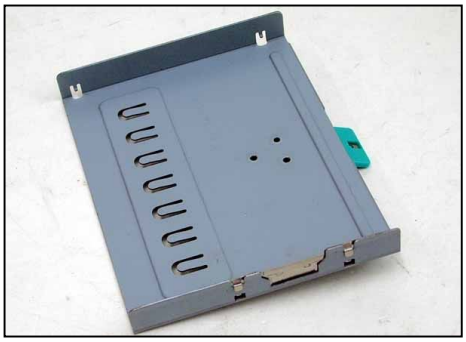
★本製品付属のスリムODD変換基板はマスター設定専用です。IDE接続2.5”HDDを使用される場合は、スレーブ設定ができるスリムODD変換基板をお求めになり、交換する必要があります。（弊社販売品では、SLIM-02がスレーブ設定可能です）



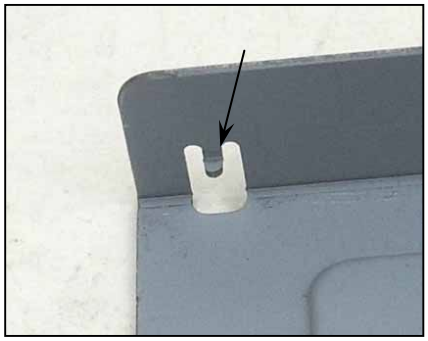
①フロントパネルのマスクベゼルを外します。下より押しながらマイナスドライバを使用すると容易です。



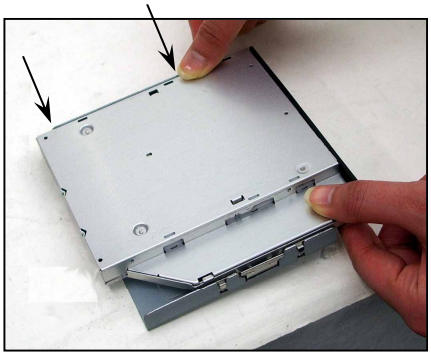
②スリムODDブラケットを外します。ストッパーを押し前に出します。



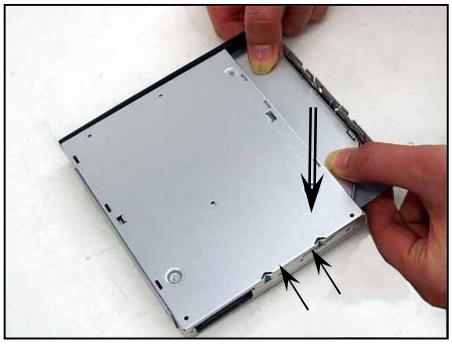
③スリムODDブラケットを裏返しにします。



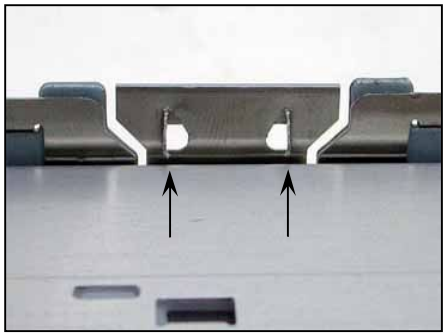
④ODD固定用の突起位置を確認します。



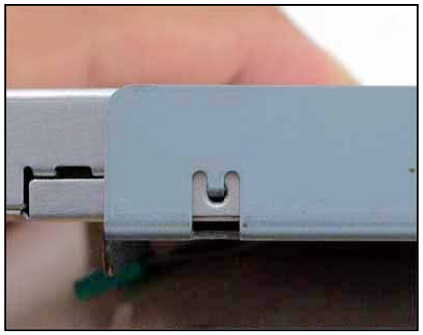
⑤ODD左側のネジ穴を④の突起に入れます。



⑥反対側を押し込み、抜け止め突起に掛けます。

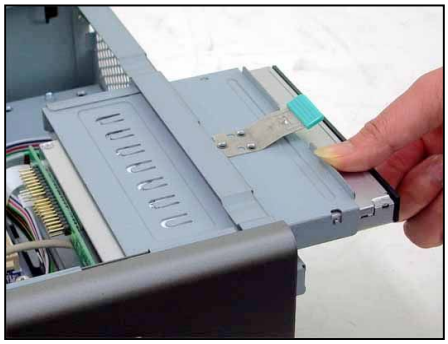


⑦抜け止め突起から外れない事を確認します。

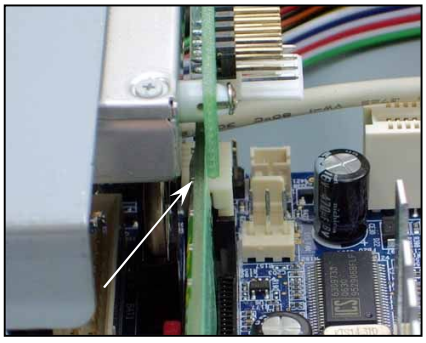


⑧ブラケットの突起がODDのネジ穴に入っていることを確認します。

⑨スリムODD変換基板を取付け、付属ネジで固定します。



⑩正面側より挿入をします。この時マザーボード上の部品と衝突が無い様に注意します。



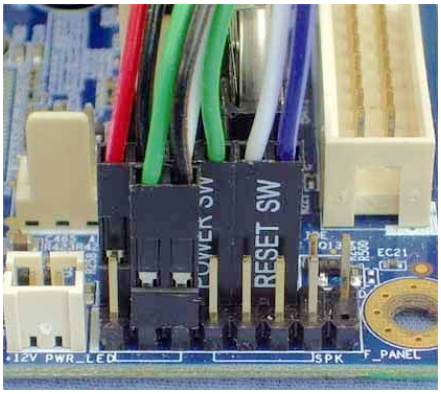
⑪マザーボード上の部品と接近している場合、絶縁テープなどで保護します。

【注意】
マザーボード上の部品と接触しますと、機器の破損だけでなく火災発生の恐れがあります。

⑫ケーブルの配線をし、フロントパネルを元通りに取り付け完了です。

９．システムパネルケーブルに関して

【注意】フロントパネルに装備されているスイッチやLEDに接続されているコネクタの接続先に関しては、ご利用のマザーボードマニュアルを参照して下さい。

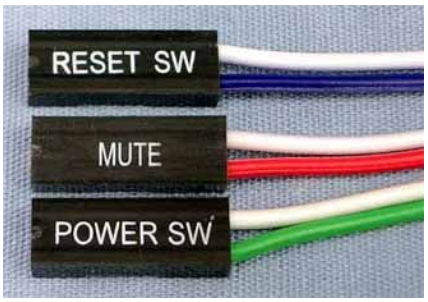


LEDとスイッチケーブルなどを
マザーボードに接続した例

●リセットスイッチ
極性無し

●ミュートスイッチ
極性無し

●パワースイッチ
極性無し



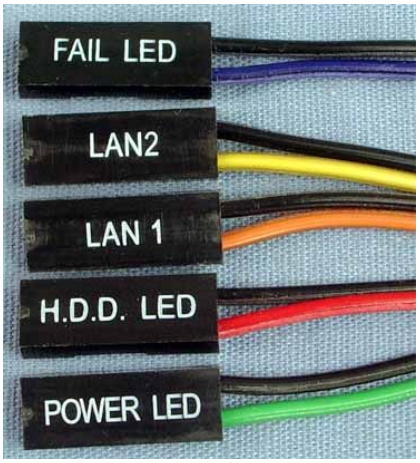
●FAIL LED
－：黒/＋：紺

●LAN2 LED
－：黒/＋：黄

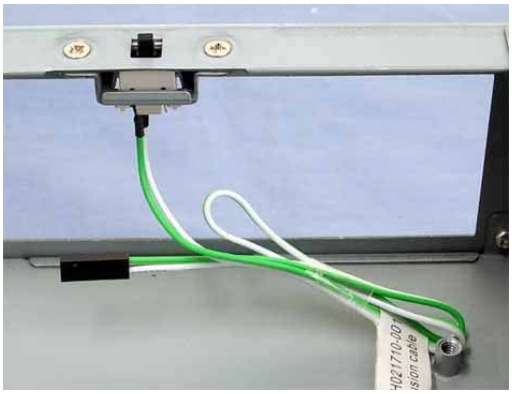
●LAN1 LED
－：黒/＋：橙

●HDDアクセスLED
－：黒/＋：赤

●パワーLED
－：黒＋：緑



ケース開放警告スイッチ
一般的なマザーボードに対象端子がある事は少ないようです。断線と破損防止のため取外されることを推奨します。



１０．フロントパネルアクセスポートに関して

本製品のフロントパネルにはUSBポート×2、が装備されております。

【注意】★接続の際にはマザーボード付属のマニュアルを確認して接続して下さい。接続位置や極性を間違えるとマザーボードや、各接続機器を破損する恐れがあります。

★フロントUSBフロントポートはマザーボード又は拡張ボード（PCIカードなど）に接続ピンヘッダーが無い場合は使用できません。

●9ピン USBピンヘッダーに接続します。

フロントポート用の9ピンUSBコネクタ

色（機能）	内容	他での呼称
赤(VCC)	電源ライン	PWR, POWER
白(USB－)	データ－	D-, DATA-, LDM*
緑(USB＋)	データ＋	D+, DATA+, LDP*
黒(GROUND)	グランド	GND, COMMON

こちらの9ピンUSBコネクタは、カードリーダー用です。同じくUSBピンヘッダーに接続します。

１１．ファンについて

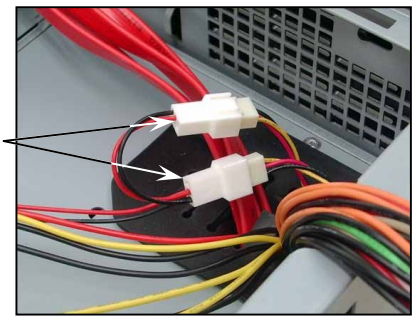
１１－１．背面排気ファン

本製品には背面に7cm排気ファン2基が装備されていますが、この部分の分解は困難な上、内部に電源やパックプレーンなど重要で精密な部分があるため、ファン故障などの際は弊社に修理をご用命ください。（汚れの除去や、保証期間経過後の修理は有償となります）

【注意】

★お客様がこの部分の分解を行った場合、以後不良になった部品などの責任所在の解明が困難になるため、製品全体が保証の対象外となる場合がありますのでご注意ください。

★右の写真の様に、背面ファンの配線がマザーボード取付け面にありますので、このファンコネクタは外さないでください。



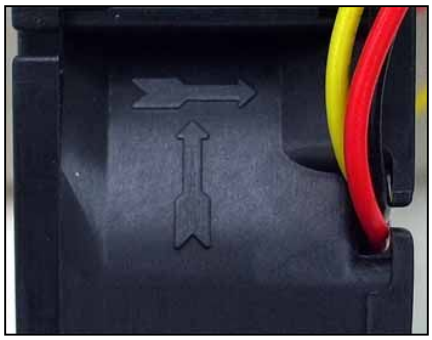
１１－２．正面吸気ファン取付け

本製品は、正面に6cm吸気ファンを取付けるスペースが用意されています。作業前に“５．フロントパネルの取外し方”を参照しフロントパネルを外してください。

【注意】★自作パソコンの温度管理はお客様の責任です。CPUや各種部品の発熱が多い場合は、強力なファンを増設するなどの対応が必要です。冷却能力を超えた過熱による故障などは保証の対象外です。

★雑音や故障の原因となりますのでファンの中心部を押したり、羽を指で回したりしないで下さい。

★冷却性能を保つため定期的にファンのメンテナンスを実施して下さい。なお、ホコリ除去などを掃除機で行う場合、羽が回転しないよう固定してください。掃除機の吸気で羽を回す事は雑音や故障の原因となります。



①新しく付けるファンの風向きを確認します（正面側より吸気する方向に取付けます）

②スタッドを避け、内側よりななめ方向から挿入します。

③内側よりファンを支え、ファン付属ネジ2本を仮止め（締め付けない）します。

④線の挟まりなどが無いことを確認したら、ネジを締めます。

⑤フロントパネルを元通りに付けファンの配線をして完了です。

１２．電源ユニットについて

本製品には120Wの電源ユニットが付属しております。ご自分で作製されるPC環境の瞬間最大（ピーク）消費電力が120Wを超えないよう、各部品をお求めの際は注意ください。

【注意】★瞬間最大（ピーク）消費電力は定格電力より大きいため、ご使用になる各部品の合計定格電力より20～30％の余裕を持った状態でのご使用を推奨します。本製品の付属電源は120Wですので、合計定格電力100W以下を目途にしてください。瞬間最大電力が120Wを超えますと突然のシャットダウンが起き、貴重なデーターや機器を破損する恐れがあります。弊社で試験した瞬間最大消費電力が約100W構成のモデルを下に掲載しますので参考にしてください。

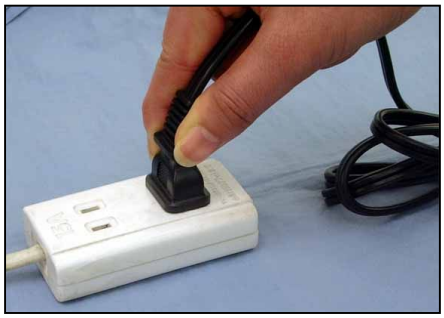
★本製品付属の電源及び付属ACコードは本製品専用のものです。安全規格上及び製品保証上、他製品からの流用及び他の製品への転用はできません。

【弊社試験、瞬間最大電力が約 100W の構成】

マザーボード	VIA　EPIA-EX15000G	ビデオカード	オンボード
CPU	オンボード(VIA C7 1.5GHz)	サウンドカード	オンボード
メモリー	DDRⅡ533MHz 512kB×1	CD-ROM	松下　UJ870QJ
		OS	WindowsXP
2.5”HDD(OS)	HITACHI HTS541040G9SA00	電源	付属 120W DC 電源アダプタ
RAID CARD	RocketRAID 2210	ライザカード	本製品付属品
RAID HDD1	HITACHI HDS721010KLA330 1TB	RAID HDD2	HITACHI HDS721010KLA330 1TB
RAID HDD3	Seagate ST31000340AS 1TB	RAID HDD4	Seagate ST31000340AS 1TB
瞬間最大電力	起動時のRAID CARD BIOS 読み込み時に発生、起動後は負荷テスト実行中でも約61W ・RAID構成：①HDD1+HDD2でRAID0　②HDD3+HDD4でRAID0 ・負荷テスト：RAID①対RAID②間で、各種混合データーのRead&Writeを連続で実施		

①電源出力コネクタを本製品背面のDC入力ジャックに接続します。

②ACコードを電源に接続します。



③ACコードを家庭用100V電力に接続します。

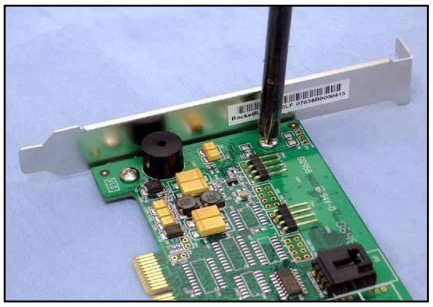
瞬間最大消費電力が約100W構成のモデル

１３．PCIカードなどの取付け

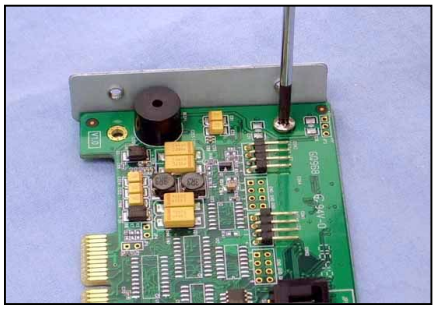
本製品PCIスロットへのPCIカードなどの組込みは以下の様にします。取付けには本製品付属のライザカードを使用します。

【注意】★本製品のPCIカード取付けスペースは、背面のPCI金具部分にコネクタなど一切部品の付いていないボードで、尚且つローハイトで奥行き160㎜以内のみ対応していますが、配線用コネクタや部品の出っ張りがあると、ローハイトで奥行き160㎜以内でも組込みできない場合があります。またPCI金具は本製品付属の専用金具を使用するため、専用金具とPCIカード固定穴の位置が一致する必要があります。PCIカードをお求めの際は以上をご確認の上お求めください。

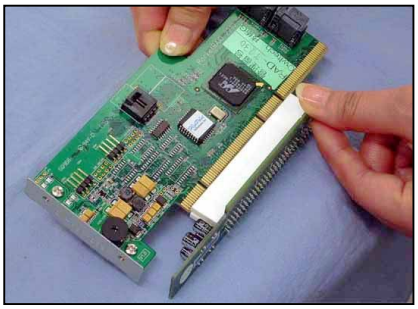
★ケーブルの接続方法はカードの説明書を参照するかカードメーカーに問い合わせてください。



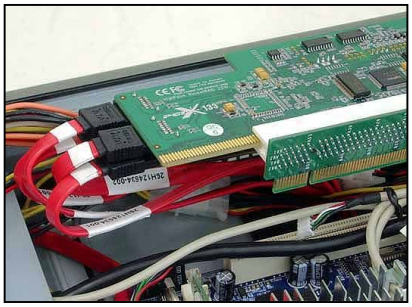
①PCIカードよりPCI金具を外します。外したネジは専用PCI金具取付けで使用します。



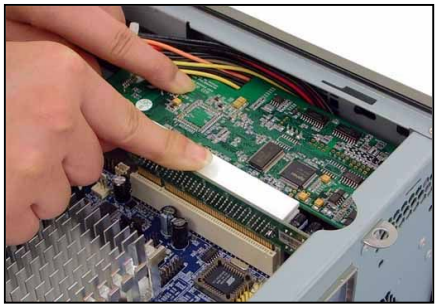
②本製品付属の専用PCI金具を①で外したネジで取付けます。



③PCIカードにライザカードを取付けます。



④PCIカードに配線が必要な場合、組込み前に配線をします。



⑤線の挟まりが無い様に注意しながら、マザーボードのPCIコネクタにライザカードを差し込みます。

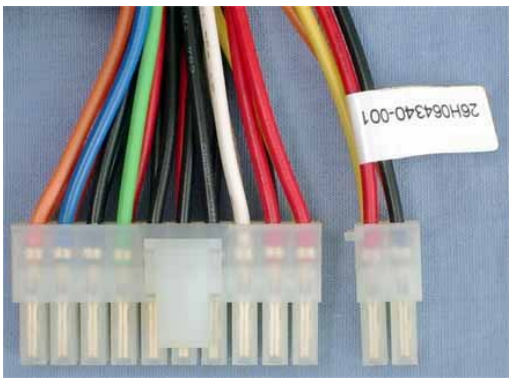
⑥背面よりインチネジで固定し完了です。

１４．直流出力電源コネクタの説明

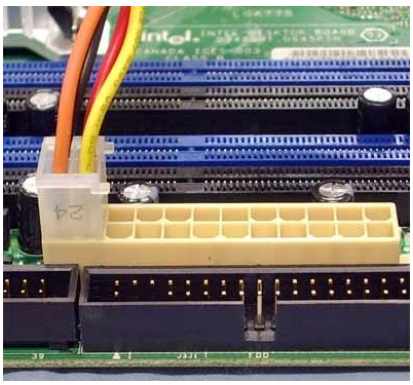
本製品は内部に電圧変換ユニットがあり、背面から取り入れたDC19Vを各部で必要な電圧に変換し出力しています。内部から各種の直流出力ケーブルが出ていて、その先には電源コネクタがついております。所定の場所にコネクタの向きを確認の上、接続してください。

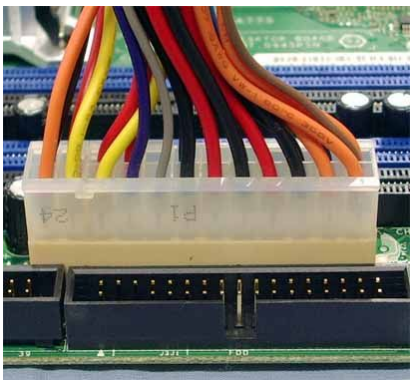
【マザーボード用　20＋4ピン コネクタ】

マザーボードの20ピン電源コネクタに挿入する場合は、20ピンのみ差込みます。



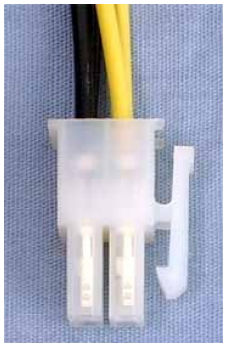
マザーボードの24ピン電源コネクタに挿入する場合は、先に4ピン側を差込み、後から挿す20ピンで4ピンを押えます。

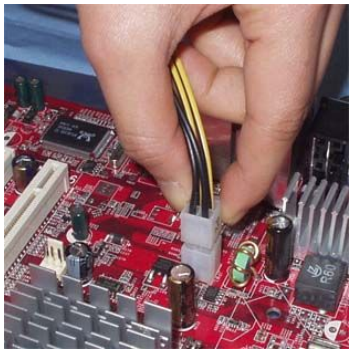




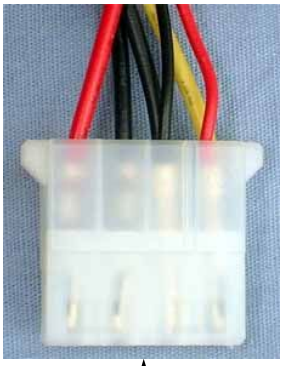
【注意】余分なコネクタ及び、切り離して使用しないコネクタは、尖った物などに中芯ピンが接触しないよう固定するか、絶縁テープなどで保護してください。

【 ATX12V 4ピン電源コネクタ】
マザーボード上の ATX12V 電源コネクタに挿入します。

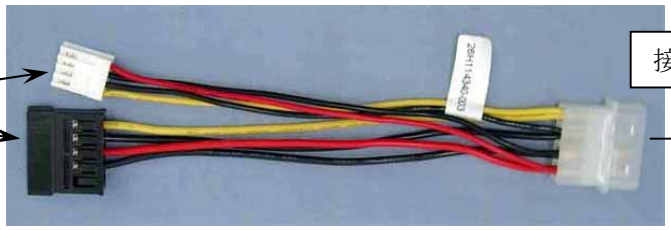




【ペリフェラル4ピン電源コネクタ】
付属の電源分岐ケーブルに接続します。



【付属、電源分岐ケーブル】
FDD用ミニ4ピンコネクタ
SATA 電源コネクタ



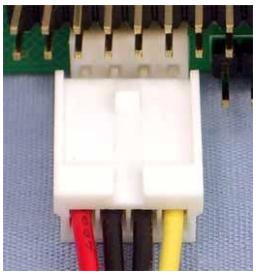
接続

【警告】各コネクタは、逆挿し（裏返し）や、ずれ挿しをしないよう注意してください。
誤挿入を防止するためコネクタの形状は工夫されていますが、材料がプラスチックのため、強く押す事で、逆さでも挿入できてしまう場合があります。
また、電気的に接続してはいけない場所でも、接続できてしまう場合がありますので、コネクタの機能と接続先の機能を、各機器のマニュアルなどで確認の上、接続してください。
誤接続、逆挿しやずれ挿しをしますと、各機器の故障だけでなく火災の発生原因になります。

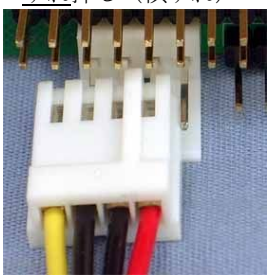
本製品付属のスリム ODD 変換基板への接続を、電源取扱い時の注意例として掲載しました。
他のコネクタでも発火や事故防止のため同様な注意が必要です。

写真は スリムODD変換基板への接続不良例です。
製品により位置や向き、形状が違います。

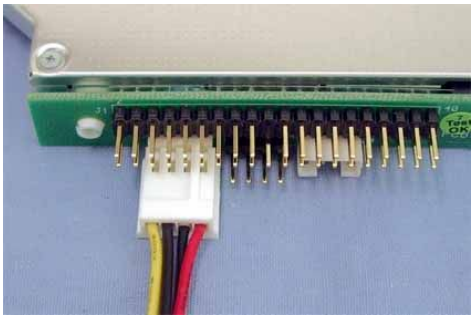
逆挿し（裏返し）



ずれ挿し（横ずれ）



【 FDD用ミニ4ピン電源コネクタ】
ODDスリム変換基板 に接続します。



【 SATA 電源コネクタ】
SATA HDD に接続します。

【注意】
本製品付属の電源分岐ケーブルのSATAコネクタに、3.3V（橙色）出力はありません。
現在3.3Vが無いために動作しないHDDは、発見されていませんが、将来的に3.3Vが必要なHDDが出現した場合、本製品からの電源では動作しません。

１５．カードリーダーについて

本製品は正面に、MS/MS Pro/MS Duo/MS Pro Duo/SD/MiniSD用のカードリーダーが付属しています。

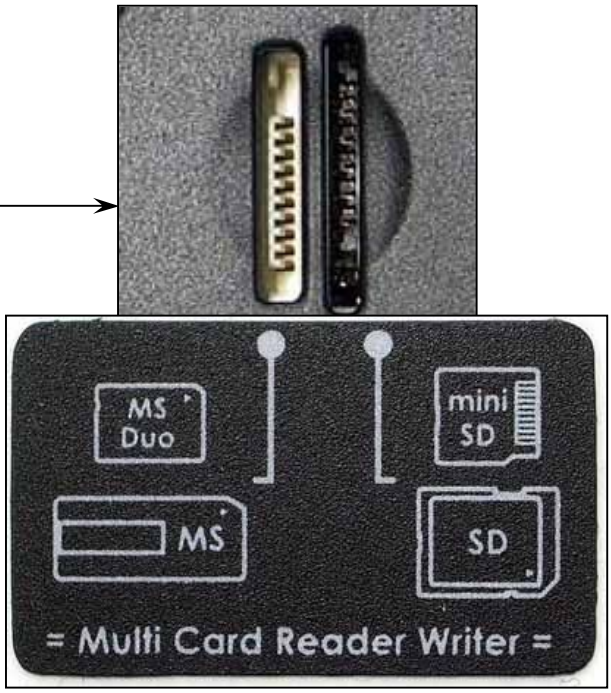
【注意】★カードリーダーの動作対象OSは、WindowsVista/XP/2000のみとなります。その他のOSは動作の保証をしていません。またカードリーダー用USBケーブルはOSインストール完了後に接続してください。OSインストール前に接続しますと、本カードリーダーのドライブレターがCドライブなどになる場合があります。

★カード類をカードリーダーに挿入するときは、正面パネルに対して垂直に挿入してください。斜めに挿入しますと、カードリーダーやカードの破損を引き起こす恐れがあります。

★現在市場に有る、又は今後発売になる全てのカードへの適合を保証するものではありません。現時点での対応カード類は弊社ホームページで確認できますのでご覧ください。

下のカードリーダー用USBケーブルをマザーボードに接続してください。OSが自動認識し、マイコンピューター上にドライブが出現します

フロントパネル



各カードはラベルの指示通りに挿入してください。
★MSカード類とSDカードは表示面が右になる様にし、挿入口の中央に挿入。

★MiniSDは端子面が右になるようにし、挿入口の上に寄せる様に挿入。

パソコンケースで困ったときは？

パソコンケース組立て時にご不明な点が有り下記の問題点と同じ場合は、該当致します項目をご確認願います。

Q：電源が入らない。

A：①電源ケーブルを奥まで接続していますか？テーブルタップを使用している場合はテーブルタップの確認をして下さい。
②フロントパネルより配線されているパワースイッチコネクタを、マザーボード上の正しい位置に接続していますか？

Q：電源は入るが画面に映像が映らない。

A：①モニターの電源を「オン」にしていますか？
②パソコン本体に接続するVGAケーブルを間違えた場所に接続していませんか？
③「ビープ」音が鳴っている場合は、周辺機器(CPU・M/B・メモリー等)に異常が発生していますので周辺機器をご確認して下さい。

Q：ケースに搭載されているLEDやスイッチ類の配線方法が良く分かりません。

A：各スイッチ類には極性が有りませんので、どちら向きに接続しても問題はありません。
LEDには極性があります。弊社の付属ケーブルでは「白又は黒」がマイナス(GND)側になります。
また、フロントにUSBポートが付属している場合、その付属ケーブルはマザーボード上のUSBピンヘッダーに接続して下さい。信号名はマザーボードメーカーにより名称が異なりますのでマザーボード付属のマニュアルにてご確認願います。

Q：付属している電源を交換することは可能ですか？

A：本製品に付属している電源は、本製品専用のものです。他の製品や一般市場で販売されている電源との互換性はありませんので交換できません。故障の際は修理扱いとなりますので、弊社まで問い合わせください。

Q：マザーボードの取付け位置が合わない。

A：マザーボードは背面のI/Oパネル部分を先に差込み、所定の穴位置に合わせます。ネジで固定する場合は、最初の1本目から本締めすると2本目からのネジ位置が合わなくなるので全てのネジを仮止めしてから本締めを行って下さい。また、ネジは対角線上の順番に締め付けをして下さい。

Q：I/Oパネルについて。

A：マザーボードに付属しているI/Oバックパネルをご使用ください。また、取り付けの際は本マニュアルを参考にして下さい。I/Oバックパネルはエッジに鋭い部分が有りますので取付け・交換の際は、ケガをしないよう十分注意して作業をして下さい。

Q：PCI拡張スロットに全ての拡張カードが接続できますか？

A：本製品のPCIスロットはPCケースのサイズを小さくしている関係上、一般的なPCIボードの組込みができません。PCIボードをお求めの際は寸法・形状を確認し、組込みができるボードのみをお求めください。

Q：ケースに付属していた部品を紛失してしまいました。パーツを購入することは可能ですか？

A：保守パーツを購入することは可能です。ただし数に限りがございますので場合によっては保守パーツを購入することが出来ない場合もございますので何卒ご了承ください。（保証書の確認が必要になります）

その他、ケースに関しましてご不明な点がありましたら弊社サポートセンター迄ご連絡をお願い致します。

PC080115-a